



平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月7日

上場会社名 株式会社東京個別指導学院 上場取引所 東
 コード番号 4745 URL <http://www.kobetsu.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)谷山 和成
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営政策本部長 (氏名)舟戸 彰一 (TEL)03(5547)3759
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日 配当支払開始予定日 平成23年11月21日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第2四半期の業績(平成23年3月1日～平成23年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	5,898	△10.8	△284	—	△280	—	△180	—
23年2月期第2四半期	6,612	△8.1	13	△97.1	15	△96.8	△261	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第2四半期	△3 33	— —
23年2月期第2四半期	△4 60	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第2四半期	7,740	6,364	82.2	117 24
23年2月期	8,129	6,763	83.2	124 57

(参考) 自己資本 24年2月期第2四半期 6,364百万円 23年2月期 6,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	— —	4 00	— —	4 00	8 00
24年2月期	— —	3 00			
24年2月期(予想)			— —	3 00	6 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の業績予想(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	12,545 △8.6	327 △58.8	331 △58.4	184 16.5	3 40

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期2Q	54,291,435株	23年2月期	58,868,186株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年2月期2Q	一株	23年2月期	4,576,751株
----------	----	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年2月期2Q	54,291,435株	23年2月期2Q	56,882,003株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューの対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	P. 4
3. 四半期財務諸表	P. 5
(1) 四半期貸借対照表	P. 5
(2) 四半期損益計算書	P. 6
【第2四半期累計期間】	P. 6
【第2四半期会計期間】	P. 7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
4. 補足情報	P. 11
(1) 販売実績	P. 11

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、新興国を中心とした海外経済の改善などを背景に緩やかな回復基調にありましたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び原子力発電所の諸問題などの影響により、企業の生産活動の低下や個人消費の自粛ムードなどが広がるなど、引き続き景気回復の先行きは不透明な状況にあります。

このような状況のもとで、当社は、生徒一人ひとりの目標達成を支援することを最重点方針に講師・授業・運営品質の向上に努め、「生徒第一主義」を深化させ、保護者の方から「子どものことをこれだけわかってくれて、成長させてくれるところはないですね」と言っていただけを、より具体的な実行策を立て、個別指導塾業界のトップ企業を目指しました。

売上高につきましては、7～8月実施の夏期講習会は計画を上回るなど業績は回復に向っておりますが、震災の影響により首都圏において春期講習会の中止、ならびに営業活動を自粛いたしました影響により在籍生徒数は前年を下回りました。その結果、当第2四半期累計期間の売上高は5,898百万円（前年同期比10.8%減）となりました。

損益面におきましては、地代家賃、その他経費の圧縮に努めたものの減収の影響が大きく、営業損失は284百万円（前年同四半期は営業利益13百万円）、経常損失は280百万円（前年同四半期は経常利益15百万円）、四半期純損失は180百万円（前年同四半期は四半期純損失261百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(財政状態)

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ389百万円減少し、7,740百万円となりました。資産の増減の主なものは、営業未収入金の増加額1,179百万円、現金及び預金の減少額1,617百万円であります。負債は前事業年度末に比べ9百万円増加し、1,375百万円となりました。負債の増減の主なものは、未払費用の増加額207百万円、前受金の増加額81百万円、未払金及び買掛金の減少額262百万円であります。純資産は前事業年度末に比べ398百万円減少し、6,364百万円となりました。これは主に剰余金の配当217百万円、四半期純損失180百万円によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ1,617百万円減少し、当第2四半期会計期間末には3,782百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの原因は次のとおりであります。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動の結果支出した資金は1,294百万円（前年同四半期累計期間は1,321百万円の支出）となりました。

これは主に、夏期講習会売上に伴う営業債権が一時的に増加したこと及び、営業損失を計上したこと等によるものであります。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動の結果支出した資金は105百万円（前年同四半期累計期間は2,970百万円の収入）となりました。

これは主に、教室移転による既存入居先からの敷金及び保証金の返還による収入があったものの、教室移転に伴う新規入居先への敷金及び保証金の差し入れ、有形固定資産等の取得による支払いを行なったことによるものであります。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動の結果支出した資金は217百万円（前年同四半期累計期間は1,302百万円の支出）となりました。

これは主に、配当金の支払いを行なったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年9月29日に発表いたしました平成24年2月期の通期の業績予想について変更はございません。

なお、今後の経営環境の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

記載すべき重要な事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,782,391	5,399,948
営業未収入金	1,396,229	216,430
たな卸資産	44,660	55,291
その他	417,183	352,379
貸倒引当金	△15,509	△14,551
流動資産合計	5,624,955	6,009,498
固定資産		
有形固定資産	272,806	220,351
無形固定資産	184,699	180,035
投資その他の資産		
敷金及び保証金	945,082	996,882
その他	713,152	722,993
投資その他の資産合計	1,658,235	1,719,875
固定資産合計	2,115,740	2,120,261
資産合計	7,740,695	8,129,760
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,407	63,721
未払法人税等	16,508	—
賞与引当金	78,331	86,230
役員賞与引当金	—	2,689
その他	1,257,339	1,200,371
流動負債合計	1,366,586	1,353,013
固定負債		
リース債務	3,562	4,724
その他	5,651	9,007
固定負債合計	9,214	13,732
負債合計	1,375,800	1,366,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	642,157	642,157
資本剰余金	1,013,565	1,013,565
利益剰余金	4,709,171	6,224,730
自己株式	—	△1,117,440
株主資本合計	6,364,894	6,763,013
純資産合計	6,364,894	6,763,013
負債純資産合計	7,740,695	8,129,760

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	6,612,004	5,898,364
売上原価	4,115,917	3,895,147
売上総利益	2,496,086	2,003,217
販売費及び一般管理費	2,482,302	2,287,250
営業利益又は営業損失(△)	13,784	△284,033
営業外収益		
受取利息	7,172	1,052
未払配当金除斥益	—	1,075
その他	1,146	1,136
営業外収益合計	8,319	3,264
営業外費用		
支払利息	93	69
支払手数料	6,390	—
営業外費用合計	6,484	69
経常利益又は経常損失(△)	15,619	△280,838
特別利益		
固定資産売却益	2,158	—
償却債権取立益	138	—
保険解約返戻金	7,081	—
特別利益合計	9,377	—
特別損失		
固定資産除却損	7,142	10,438
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	434,088	—
その他	6,250	706
特別損失合計	447,480	11,144
税引前四半期純損失(△)	△422,483	△291,983
法人税、住民税及び事業税	3,539	1,640
法人税等調整額	△164,392	△112,670
法人税等合計	△160,852	△111,030
四半期純損失(△)	△261,630	△180,953

【第2四半期会計期間】

（単位：千円）

	前第2四半期会計期間 （自平成22年6月1日 至平成22年8月31日）	当第2四半期会計期間 （自平成23年6月1日 至平成23年8月31日）
売上高	3,829,005	3,623,331
売上原価	2,193,830	2,144,668
売上総利益	1,635,175	1,478,662
販売費及び一般管理費	1,045,073	1,058,450
営業利益	590,102	420,212
営業外収益		
受取利息	3,005	536
その他	1,014	876
営業外収益合計	4,019	1,412
営業外費用		
支払利息	45	33
支払手数料	4,241	—
営業外費用合計	4,287	33
経常利益	589,834	421,591
特別利益		
固定資産売却益	2,158	—
償却債権取立益	70	—
保険解約返戻金	7,081	—
特別利益合計	9,309	—
特別損失		
固定資産除却損	7,142	—
会員権評価損	—	706
特別損失合計	7,142	706
税引前四半期純利益	592,001	420,885
法人税、住民税及び事業税	1,265	466
法人税等調整額	243,461	177,061
法人税等合計	244,726	177,527
四半期純利益	347,274	243,357

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△422,483	△291,983
減価償却費	42,286	56,101
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	434,088	—
長期前払費用償却額	12,545	17,839
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,929	957
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,382	△7,898
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△2,689
会員権評価損	6,250	706
受取利息及び受取配当金	△7,172	△1,052
支払利息	93	69
保険解約損益(△は益)	△7,081	—
固定資産除却損	7,142	10,438
固定資産売却損益(△は益)	△2,158	—
支払手数料	6,390	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,236,821	△1,179,798
たな卸資産の増減額(△は増加)	17,415	10,630
その他の流動資産の増減額(△は増加)	28,181	24,695
仕入債務の増減額(△は減少)	4,098	△49,314
前受金の増減額(△は減少)	141,620	81,079
未払消費税等の増減額(△は減少)	△21,910	△8,041
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△102,091	3,249
小計	△1,125,059	△1,335,008
利息の支払額	△93	△69
利息及び配当金の受取額	9,859	1,288
法人税等の還付額	94	39,830
法人税等の支払額	△220,947	△393
保険金の受取額	14,985	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,321,162	△1,294,352
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	3,000,000	—
有形固定資産の取得による支出	△17,267	△96,607
有形固定資産の売却による収入	7,000	—
無形固定資産の取得による支出	△11,360	△47,566
敷金及び保証金の差入による支出	△47,217	△33,479
敷金及び保証金の回収による収入	44,600	76,186
長期前払費用の取得による支出	△3,188	△4,349
その他	△2,538	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,970,029	△105,816

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,113	△1,137
自己株式の取得による支出	△1,123,825	—
配当金の支払額	△177,201	△216,249
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,302,140	△217,387
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	346,726	△1,617,556
現金及び現金同等物の期首残高	3,734,825	5,399,948
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,081,551	3,782,391

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当第2四半期累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日）及び当第2四半期会計期間（自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日）

当社の報告セグメントは、個別指導学習塾事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（追加情報）

第1四半期会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を学生区分別に示すと、次のとおりであります。

学生区分別の名称	当第2四半期累計期間	
	売上高(千円)	前年同四半期比(%)
小学生	557,104	79.5
中学生	2,395,268	91.7
高校生	2,945,992	89.3
合計	5,898,364	89.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。